

二百七十九行に相當す、即ち此の兩斷片もまた二種の寫本にして同一本の斷片には非ず、Krotkov 氏の得たるもの (Kuan-sim Pusar. Beilage II.)、及び未だ出版せられずして新たに余に送致せられたるもの (此の種類のものは何人の獲たるものなるか明らかならず) 等數種あり、更にまた伯林には繪畫を挿入せる版本あること前述の如ければ、少くとも今六七種の異本を、數少き回鶻遺文の中より求め得たるものにして、以て此の經流行の勢の一斑を伺ふに足るべし、而して今此等の諸斷片を合して足らざるを補ひ、遂に殆んど足本として之を見るを得るに至りしについては、吾人は深くラドロフ博士の好意を謝せざる可らず。